



北海道大学工学部

同窓会会報 2026年

2026年7月1日発行

北海道大学工学部同窓会事務局

年度はじめに寄せて



北海道大学工学部同窓会理事長 佐々木 克彦（機械工学第二学科 17期卒）

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より同窓会活動に対し、温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

新たな年度を迎えるにあたり、同窓会は、単なる懇親の場にとどまらず、世代や分野を超えた知の交流の場であり、母校を支え、次代へとつなぐ大切な基盤であると、あらためて同窓会の役割と意義について思いを巡らせております。

さて、現在の世界に目を向けますと、国際情勢は依然として不透明さを増し、地政学的な緊張、気候変動への対応、経済構造の変化など、私たちを取り巻く環境は大きく揺れ動いております。また、AIをはじめとする技術革新は社会の在り方そのものを変えつつあり、これまでの常識や価値観が問い直される時代に入っています。

このような時代においてこそ、私たちが母校で培った「学ぶ力」と「つながる力」が重要性を増しています。同窓生一人ひとりがそれぞれの現場で果たす役割は小さくなく、その積み重ねが社会全体の持続的な発展へとつながっていくものと確信しております。そし

て同窓会は、その歩みを支え合い、結び直す場であり続けたいと考えております。

しかしながら、同窓会の現状を見ますと新卒者の入会率が減少傾向にあり、予算的に厳しい状態になっております。このため、会員増強の一つの方策として、本年度より学部在学生の入会を可能とし、入会者には新たに設けた海外渡航助成制度への応募の権利を付加することといたしました。さらに、昨年度から卒業時に同窓会費を納めた学生に学位記ホルダーの提供を始めました。これらの新しい試みを積極的にアピールすることにより、学内における同窓会の存在感を高め、会員増強に努めていきたいと考えております。また、本年度も、同窓生相互の交流促進に加え、若い世代への支援や大学との連携強化など、さまざまな取り組みを進めてまいります。変化の激しい時代だからこそ、原点を大切にしながら、新たな価値の創出にも挑戦していく所存です。

結びに、同窓生の皆様のますますのご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げますとともに、本年度も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

■ 学科紹介 No.5

応用理工系学科

学科長 市村 晃一

2005年に応用物理学科、応用化学科、材料工学科を統合して応用理工系学科が発足してから20年あまりが経過しました。物理学・化学などの基礎科学を基にそれを社会に応用する工学技術への展開を目指す共通理念のもと、3つのコース（応用物理工学コース、応用化学コース、応用マテリアル工学コース）にてそれぞれのカリキュラムで教育・研究を進めています。フロンティア入試TypeI（応用マテリアル工学コース）、フロンティア入試TypeII（応用物理工学コース）の導入や高専からの編入学などの入試の改善ならびに多様化を進め多彩な学生を世の中に送り出しています。学部卒業生の

ほとんどは修士課程に進学していますが、博士学生への経済的な支援が充実しつつあり、より高度な知見や思考を身につけた人材を輩出すべく努力しております。

本学科では、基礎科学の観点から課題を直視するところから工学技術の応用を介して解決へ導ける人材を育成することで、世界的な共通課題であるグリーントランスフォーメーション（GX）や、国内で推進している半導体産業基盤の再構築をはじめとする様々な課題解決への貢献を目指しております。教職員一同、今後も教育・研究に邁進してまいります。これまでと同様にご支援をよろしくお願い申し上げます。

応用物理工学コース

コース長 市村 晃一

コロナ禍から数年を経て、授業は原則対面で行われています。活気のある教室の中で人と人との直接の関わりの大切さを維持しつつ、資料や提出物の電子化といったオンラインの利便性も生かした新たな形態に変化してきました。

物理学に重みを置いて選抜するフロンティア入試TypeIIが導入から4年を経て定着してきました。物理学に強く興味を示す学生を直接コースに迎え入れられることは喜ばしいことです。総合入試、学部別入試とあわせ多様な学生間で刺激を与えあっています。

直近の話題は「半導体」についてです。国や北海道はもちろん、北大として力を入れて推進している半導体関連の人材育成に関して、応物コースは基礎科学の立場から半導体教育において重要な役割を担っております。

学部卒業生の8割ほどが修士課程に進学しています。修士修了者の1割ほどが博士課程に進学していますが、数としてはまだまだ足りません。博士学生への様々な経済的な支援制度が整備されつつあり、ひとりでも多

くの学生が博士課程に進学するよう努力しております。社会人 Doktor も歓迎しておりますので、ぜひ一考ください。少しでもご関心をお持ちでしたら各分野の教員にご連絡ください。

就職についてはよい状況が続いておりますが、インターンシップも含め選考プロセスの多様化や相対的に自由応募が増えているために、就職活動に費やす時間が以前より長くなっております。OB・OGの皆様には推薦応募枠を増やすといった形でのご支援をいただくと幸いです。



▲学生実験の様子

応用化学コース

コース長 猪熊 泰英

応用化学コースでは、有機化学、無機化学、物理化学、高分子化学、材料化学、触媒化学、分析化学などを基盤として、分子レベルの基礎化学からエネルギー・

電子材料・生命関連分野に至るまで、幅広い教育と研究を行っています。近年、北海道ではラピダスの進出などを背景として半導体関連産業への期待が高まり、

それを支える高度理工系人材の育成が強く求められています。本コースにおいても、電子材料、機能性分子、表面・界面化学などの教育を通じて、こうした先端産業を支える人材育成に大きく貢献しています。

研究面では、従来からの化学分野に加え、近年ではデータ科学や人工知能（AI）を活用した新しい融合研究も活発に展開されています。また、社会的関心の高い蓄電池材料、二酸化炭素の資源化、環境調和型材料、持続可能社会を支える化学技術などに関する研究も盛んに進められており、グリーントランスフォーメーション（GX）やカーボンニュートラルの実現にも貢献しています。



人材育成の面では、北海道大学EXEX博士人材フェローシップをはじめとする博士学生支援制度の充実により、経済的支援を受けながら研究に専念できる環境が整備されてきました。その結果、本コースから総合化学院の修士課程を経て博士課程へと進学する学生も増加しており、将来の科学技術を担う高度専門人材の育成が着実に進んでいます。

同窓会の皆様には、これまでも本コースの教育研究活動に多大なご支援を賜り、心より御礼申し上げます。今後も社会の要請に応える人材の育成と先端研究の推進に努めてまいりますので、引き続きご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

応用マテリアル工学コース

コース長 菊地 竜也

昭和17年（1942年）、北大工学部に生産冶金工学科が創設されて以来、冶金工学科（1952年～）、金属工学科（1971年～）、材料工学科（1994年～）、応用マテリアル工学コース（2005年～）と名称変更しつつも、一貫して金属・半導体・無機系材料工学の教育研究を行いながら、本年度で設立84年目を迎えました。さまざまな大学・大学院で組織の再編が行われ、従来の学科組織が合併・消滅している例が多数見受けられますが、応用マテリアル工学コースは設立以来の基本的な組織を80年以上保ったまま現在に至っており、卒業・修了生諸氏が一体となれる同窓会であることが大きな特徴です。

近年、北大では多くの入試制度の改革があったことから、総合理系（前期日程入試）、応用理工系（後期日程入試）、フロンティア入試（旧AOからの発展的な入試）、編入学（主に高専）など多様な入り口から入学した学生がコースに所属しており、現在は教員27名、学部学生133名、大学院修士課程82名、博士課程30名で教育研究活動を行っています。学生たちはさまざまな学会で研究発表を行い、毎年多数の学生が受賞の榮譽を賜ってい

ます。また、研究論文の投稿も活発に行っております。

材料科学フォーラムをはじめとした同窓生のみなさまの手厚いご支援により、卒業・修了した学生は極めて順調に就職内定し、産業界で活躍しております。特に近年は、博士号を取得後、企業の研究者として活躍する例が目立っています。詳しくは、応用マテリアル工学コース・大学院材料科学専攻のホームページをご覧ください。材料科学専攻では、社会人博士を歓迎しておりますので、ご興味がありましたら各研究室までお気軽にご相談ください。



令和7年秋 叙勲受章者

瑞宝中綬章 酒井 洋輔氏(北海道大学名誉教授)電気工学専攻16期(S45年修了)

令和8年春 叙勲受章者

瑞宝中綬章 本間 利久氏(北海道大学名誉教授)電気工学専攻18期(S47年修了)

【瑞宝章(ズイホウショウ) …公務等に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた方】

事務局より

●会員限定ページのご案内

工学部同窓会ホームページでは、会員の皆さま向けに以下の機能をご利用いただけます。

1.お知らせの閲覧

総会のご案内、同期会の開催情報、逝去会員名簿などを掲載しています。

2.会員情報の変更

ご住所・勤務先・メールアドレスなどの登録情報を更新いただけます。

3.電子版会員名簿

会員限定の名簿をご覧いただけます。

4.会員宛メール依頼

同期会やクラス会などの案内を、同窓会事務局を通じて会員の皆さまへ送信できます。

5.デジタルアーカイブ

工学部100周年記念誌のデジタル保存版を公開しています。

ログインにはIDとパスワードが必要です。ご不明の場合は、同窓会事務局までメールにてお問い合わせください。

ぜひ、同窓会ホームページの会員限定ページをご活用ください。

●皆さまからの情報をお待ちしています

同期会の開催報告(文章・写真)や、逝去のご連絡などがございましたら、事務局までお知らせいただけますと幸いです。

編集後記

理事長のご挨拶にもありましたが、同窓会の存在感を高めようと、昨年からは3つの取り組みをはじめました。1つ目は卒業時に同窓会費を納めた学生への学位記ホルダーの贈呈、2つ目は北工会冬の綱引き大会上位入賞チームへの副賞の授与、3つ目は海外に渡航する学生を支援する仕組みづくりです。同窓会って何をしてくれるの?という質問に答えられるよう少しずつですが、取り組んでいきます。後輩の活動を応援するため同窓会の活動をご理解いただき、今後ともご支援頂ければ幸いです。



◀ 学位記ホルダー



◀ 綱引き副賞授与

北海道大学工学部同窓会 〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

TEL : 011-706-7131 FAX : 011-746-7914

Email : dosokai@eng.hokudai.ac.jp

URL : <https://www.eng.hokudai.ac.jp/dousokai/>

